



2018年3月19日

2018年秋、東横線祐天寺駅に新しい駅ビルが誕生します！ オフィス×保育園で子育て世代の職住近接のライフスタイルを支援します

東京急行電鉄株式会社

当社は、東横線祐天寺駅において「(仮称)祐天寺駅ビル計画(以下、本計画)」を進めており、2018年秋(予定)に、新たな駅ビルを開業します。本計画は、駅ビルの建替えと、街の東西をつなぐ自由通路や高架下店舗の整備を行い、新築する6階建てのビル内は、商業店舗、保育園、スモールオフィスで構成します。

本計画では、「まちのシンボルツリー」をコンセプトに、落ち着いた雰囲気を残しながらも、新たな顔を見せる「祐天寺の街」と共に成長する開発を目指します。

祐天寺駅は、渋谷駅から各駅停車で3駅約7分と交通利便性が高い立地でありながら、周辺には魅力的な商店街や公園、学校が点在し、個性的な物販店や飲食店が増え、こだわりのライフスタイルが実現できる住宅地として人気を集めるエリアとなっています。また、この10年ほどは、このエリアで SOHO(※)も増えつつあり、「住」だけでなく「職」も兼ね備えた街として、少しずつ変化が生まれています。一方で、近年目黒区は待機児童数が増加しており、子育て環境が課題となっています。そこで本計画では、駅直結の保育園、スモールオフィスを設けることで、子育てしながら働くという職住近接のライフスタイルの可能性を広げるとともに、時代に対応した新たな街の魅力を作りだします。

今回入居する保育園は、「KBC ほいくえん祐天寺」として、当社の100%子会社である株式会社キッズベースキャンプが運営する2店舗目の企業主導型保育園となります。土曜保育を実施し、20時30分まで延長料金がかからないなど、多様な働き方に対応するほか、保育室の全方位カメラの設置といったセキュリティの完備や、出欠連絡、登園管理のICT化などにより、より安心、便利にご利用いただけます。

当社は、中期3か年経営計画の重点施策として「沿線開発と不動産事業の更なる推進」を掲げており、地域特性を踏まえ、魅力ある沿線の拠点を創出、さらなる地域活性化を進めています。今後も、「日本一住みたい沿線 東急沿線」を目指し、ITの進展や働き方の変化に対応した、職住近接などの新しいライフスタイルの提案、実現に取り組んでいきます。

本計画の詳細は別紙の通りです。



【バスロータリーから見た外観イメージ】

(※SOHO…「Small Office Home Office」の略称で、小さなオフィスや住宅をオフィスとする人たち)



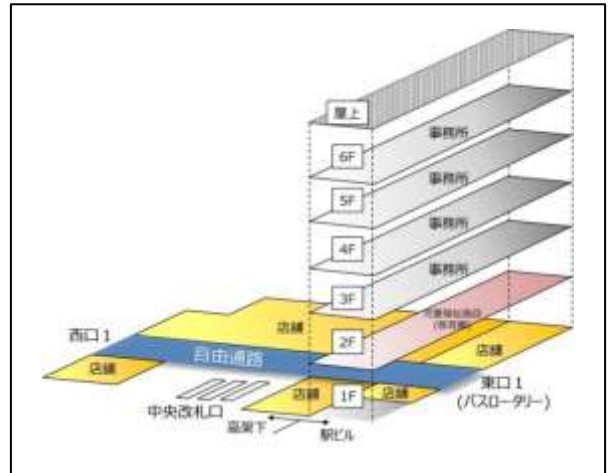
【自由通路イメージ】

以 上

【別紙】

■計画概要(予定)

- 敷地面積: 約936㎡
- 延床面積: 約1,999㎡
- 所在地: 東京都目黒区祐天寺2丁目13番3ほか
- 構造・規模: 鉄骨造 地上6階建て
- 用途: 店舗・事務所・児童福祉施設(保育園)
- 開業予定: 2018年秋
- 設計・監理: 株式会社東急設計コンサルタント
- 施工: 清水建設株式会社
- 商環境デザイン: 株式会社丹青社
- 外観デザイン: LINE-INC.
- 乗降客数: 1日あたり30,877人(2016年度)



▲用途構成



■いい街 いい電車 プロジェクトとは・・・

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみならず近隣の近くで良い関係「近い関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。



■KBC ほいくえん祐天寺概要(予定)

- (1)施設名称: KBCほいくえん祐天寺
- (2)運営主体: 株式会社キッズベースキャンプ
- (3)建物面積: 約200㎡
- (4)定員数: 48人
- (5)開設時期: 2018年秋(予定)
- (6)営業時間: 7時30分～20時30分
- (7)対象年齢: 0歳児～5歳児



▲KBC ほいくえん祐天寺内装イメージ

(参考)目黒区の保育所など入所待機児童数、保育施設の定員数の推移(各年4月1日現在) (人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
入所待機児童数	132	247	294	299	617
保育施設定員数	3,704	3,941	4,275	4,523	4,964